

第 19 回定期講演会準備状況

1. 前回運営会議での決定/アクション項目

<決定/アクション事項> 前回議事録抜粋に追記

- (1) (会長) 文科省へのコンタクト →状況確認
- (2) (谷平会員) エネ庁へのアポイントの段取り →状況確認  
前回講演者の意向確認 →原輝夫氏
- (3) (森会員) リモート講演の PC 操作担当 →藤本先生がリモート講演
- (4) (事務局) 本日の議論をもとに講演会テーマ案を作成 →次項参照
- (5) (事務局) 大学の先生方の講演時間を短縮し、総括討議の時間を増やす。  
→先生方の講演@20 分を@15 分に短縮、総括討議 20 分を 30 分に変更

2. 委員会テーマ(事務局案)

- ① GX 推進への高温ガス炉産官学イニシアチブ  
～オールジャパンで未来を目指す～
- ② 高温ガス炉開発の進展  
～産官学連携による GX への貢献～
- ③ 産官学における高温ガス炉研究開発

<定期講演会テーマ履歴>

回	テーマ	副題
第 19 回	●	●
第 18 回	世界に羽ばたく日本の高温ガス炉技術	(なし)
第 17 回	エネルギー安全保障における高温ガス炉の役割	(なし)
第 16 回	脱炭素社会に向けて	高温ガス炉の開発動向
第 15 回	国内外における高温ガス炉開発の進展	2050 年カーボンニュートラルに向けて
第 14 回	高温ガス炉の新たな展開に向けて	原子カイノベーションとしての取組や再生可能エネルギーとの共生
第 13 回	高温ガス炉の国際展開	(なし)
第 12 回	高温ガス炉の多目的利用	(なし)

### 3. 講演 4 のリモート講演手順（案）

- (1) 機材 PC(A)・・・講演台に設置（事務局にて準備・操作）  
PC(B)・・・ZOOM 接続、藤本先生が講演聴講を希望される場合は客席からスクリーンを写す（森会員にて準備・操作、外付けカメラが必要）
- (2) 講演 4-2 終了後 PC(B)を演台に移動し HDMI ケーブルを接続する。藤本先生には事前に接続していただき、画面共有により講演 4-3 を実施。  
（注）ハウリング防止のため、PC(B)のマイクはオフとする。森会員は必要な場合、会場の手持ちマイクを使用して下さい。
- (3) 講演 4-3 終了後もそのままとし、岡本会長には PC(B)を使用していただく（USB メモリ使用）。藤本先生も討議に参加可能。

### 4. 懇親会（予約済）

- ・ 講演会終了後、山上会館 1F 談話ホールにて実施。
- ・ 会費¥5,000（原価¥6,600、講演者無料）、参加想定 30 人

### 5. 今後のスケジュール

- (1) 第 6 回運営会議 12 月 17 日（火）15:30～、オンライン  
・ 議事 国内外動向調査報告  
第 19 回定期講演会最終確認
- (2) 第 19 回定期講演会 2025 年 1 月 20 日（月）午後
- (3) 第 7 回運営会議（最終） 2025 年●月●日 ●:●～

－ 以上 －